

臨床検査委託業務実施要領

受託者は、臨床検査業務を請け負うに当たり、次の事項を全て遵守すること。

また、委託者の診療業務に支障を来さないよう、受託者は業務を契約期間の始期から滞りなく稼働できるようにしなければならない。

- 1 院内検査項目はデータの継続性を考慮し、検査方法及び基準値、単位を踏襲すること。
また、システム対応経費は受託者の負担とする。
- 2 検体の集配は、土・日曜日及び祝日を除き毎日行うこと。
なお、検体保存の特殊な項目に関しては必要に応じて集配を行うこと。
- 3 集配時における検体輸送用ボックス等は、各検体の温度条件に従って室温、冷蔵、冷凍の状態で適切に温度管理して輸送すること。
- 4 日常的に実施されている検査項目に関する結果については、受託日も含めて3日以内に報告書を提出すること。
- 5 日常的に実施されていない特殊な検査に関しては、結果が判明次第、速やかに報告すること。
なお、その場合、検査終了期間までの予定日数について、事前に検査科に連絡すること。
- 6 至急コメントがついているものや前回値と大きく異なる場合は、結果が確認され次第、検査科まで電話連絡のうえ、FAXにて結果を送信すること。
- 7 検査方法の変更等が行われた際には、データ等とともに情報提供を速やかに行うこと。
- 8 検査結果の報告については、電子媒体で行うこと。
- 9 一般細菌培養検査においては、以下の項目を報告すること。
 - ①薬剤耐性菌であった場合はその旨を記載する。
 - ②薬剤感受性検査のS. I. Rと共にMIC値も記載すること。

10 検査結果が速やかに委託者の検査システムに取り込めるよう、検査コード等の紐付けをすること。

なお、本作業は4月以降の診療業務等に支障を来さないよう、3月中に完了すること。

11 上記10の紐付け作業において費用が発生する場合は、受託者の負担とする。

12 検査案内書が更新された際には、各外来診療科、各病棟など必要数配布すること。